

委員会活動報告書

委員長名 松尾 和枝

【委員会名】 研修委員会	
【メンバー】 ◎ 松尾和枝(福岡女学院看護大学)、○野尻由香(国際福祉医療大学)、田場真由美(名桜大学) 荒木田美香子(川崎市立看護大学)、三橋美和(同志社女子大学)、 山口 忍(茨城県立医療大学)、福田知恵(福岡女学院看護大学)、酒井 康江(福岡女学院看護大学) 夏季教員研修担当ブロック理事:北海道、東北ブロック理事 浅野 綾子(日本赤十字北海道看護大学)、東海、近畿北ブロック理事 榊原 千佐子(朝日大学)、北陸、近畿南ブロック理事 廣金 和枝(兵庫医科大学) 研修委員会担当副会長:鈴木美和(三育学院大学)	
50音順、◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、()所属名	
【活動方針】 1. オンライン開催による夏季教員研修会開催に向けた新メンバーでの体制整備を図る。 2. 春季研修は理事会開催、夏季研修は北海道・東北ブロックと協働開催、ラダー I 研修は研修委員会開催、秋季研修は理事会企画で公衆衛生学会開催地(茨城県)の大学等が実行委員となり協働開催とする。 3. ラダー I 研修の評価とニーズに基づいたプログラム展開の整備を図る。	
2023(令和5)年度	
達成目標	1. オンライン開催のメリットを生かした夏季教員研修を開催し、公衆衛生看護教育向上に向けた参加者間の有意義な交流を図る。 2. ラダー I 研修修了生の成果調査の検討と修了生による活動の組織化を図る。 3. 第4期生のラダー I 研修の実施とe-learning教材開発をする。
活動報告	1. ①春季研修会(6/10 理事会企画)、②夏季研修会(8/26 研修委員会企画、北海道、東北ブロック理事運営)、③秋季研修会(10/31 理事会企画)の研修会を開催した。①②はオンラインで、③は対面で実施した。②の夏季研修会には、約190名が参加し、当日、参加ができなかった教員にもオンデマンド配信の機会を設けた。テーマは「住民とともにある公衆衛生看護技術と教育展望」で、全保教の各委員会が取り組んできた公衆衛生看護技術の教育への活用方法や、教育の質の担保、視聴覚教材の有効な活用方法等について議論をした。 2. 2023年度のラダー1研修会(8/24、25、3/22)は、日本教育会館で対面研修を実施した。全国から40～35名の教員が参加した。久しぶりの対面研修であったが、直接、講師からの熱量が届く授業に研修生は受講形式の授業でもグループワークでも大変熱心に参加した。研修終了後のアンケート結果では、実り多い研修であったと高評価であった。また、夏・春のいずれの研修会にもラダー1研修修了生の代表者に2～3名参加していただき、研修修了後も継続的につながり活動する意義やその活動内容について紹介をし、研修受講者の組織化に向けて、繋ぐ会への加入勧奨を行った。 3. ラダー1研修内容のe-learning化に向けては、委員会メンバーで検討を行った。ラダー1の研修を受講した内容や受講生の反応などから、e-learning化して、より多くの教員に受講する機会を設けたい内容と、対面で意見交換を重ねながら学びを深めたほうが良い内容と、すみわけを考えながら、教材開発を行う必要性が議論された。